

## ・6月4日（水）（様似町泊）

アポイ岳ジオパーク探訪（アポイ岳登山他）（様似町泊）旅館 関白

- ・アポイ岳気温：10℃（8～12）ウインドブレーカーなど暖かい服装と歩きやすい靴、雨具
- ・登山時間：標高差 750m、2.5～3 時間（登りやすい登山道）
- ・登山計画（昼食持参）：9 時ビジターセンター着（開館 9～17 時）、9 時半頃登山開始、下山 4 時半（トイレは登山口、5 合目に携帯トイレ用の簡易ブースがある。携帯トイレは事前に購入）

## ・6月5日（木）（洞爺湖温泉町泊）

AM 様似観光案内所、様似町海岸線エリア、幌満峡エリア探索

PM 様似町⇒洞爺湖町（250km）13：00～18：00 国道 235 号 道南高速道路など

洞爺湖有珠山ジオパークセンター（洞爺湖町泊）洞爺湖畔亭

## ・6月6日（金）

8：00～17：00 洞爺湖有珠山ジオパーク探訪他

有珠山パノラマコース散策：昭和新山パークセンター、有珠山ロープウェイ

洞爺湖発 14：00⇒（国道 453 号・支笏湖経由 100km）⇒17：00 着（レンタカーショップ）

17：30 新千歳空港着

新千歳空港 18：40⇒20：55 広島空港（ANA1272 便）

## 2. 旅のあらまし

### 【6月1日】

妻と二人の飛行機を利用した本格的な旅行は久しぶりで少し緊張して家を出たが、当日は全国的に天候が良く、新千歳への空の旅も順調に経過し、ほぼ定刻通り北海道に降り立った。空港から外に出ると青空が広がり爽やかな天候で上々の旅日和となった。6 日間の滞在中の天気予報はまあまあ良好となっているが、アポイ岳に登山予定の 4 日に雨の予報となっているのが気にかかっている。レンタカーショップまでのマイクロバスに乗るのにちょっと手間取ったが、ほぼ予定どおりにレンタカーショップを出発した。車種はトヨタのヤリスクロスで座高が高く運転しやすそう。追分町 IC から道東自動車道に乗り一路釧路を目指す。北海道の道を走り出してまず感じるのが直線区間が多いことだ。一般道では知らぬ間にスピードが上がってしまう。スピードを抑えることに苦労してしまう。しかし、広島と違ってかなりストレスなくドライブを楽しむことが出来る。途中、占冠 PA に立ち寄り、地元産の焼きとうもろこし、唐揚げなどで昼食をとった。高速道は車も少なく快適なドライブが続き、道東自動車道を釧路西 IC で降り 16 時半頃釧路市湿原展望台に到着した。釧路市湿原展望台駐車場に着き車から降りた時、かなり気温が下がっているのが感じられ車の外温度計を見ると 13℃、千歳より 10℃近く気温が下がっている。ジャケットを着て展望台内部に入るとそこには 2・3F に湿原の説明展示室があり、屋上が展望台となっている。時間も夕刻となってきたためまず展望台に登り周囲を見渡すと、そこには果てしなく続く平地が広がり、広島の風景とは全く違う世界を見てかなりの感動を覚えた。（写真 1. 2）釧路湿原の形成は北海道の成り立ちと深く関係しており、その面積は周辺の丘陵地も含め 289 km<sup>2</sup>に及ぶ。一応の知識と実感を得て 17 時半頃から遊歩道を歩く。（写真 3）この時期の日の入り時刻は 19 時頃であるが、18 時近くなり日も傾きかなり気温が下がってきたが、ハンノキ林の中をゆっくり歩き湿原の序章を満喫することが出来た。釧路市内のホテルに到着したのは 19 時頃になった。夕食のために近くの居酒屋へ出かけたが、その頃には息が白く見え、手がかじかむような寒さとなり、熱燗と焼き魚など温かいもので腹を満たした。